

松平忠明宛伊達政宗書状

忍東照宮所有

先月に続いて、忍藩主松平家ゆかりの資料を紹介します。今回は、「独眼竜」の異名で有名な仙台藩主伊達政宗から、松平家の初代当主松平忠明に宛てた書状です。

日付の6月9日の下に、政宗の署名と花押があります。この日付と花押までが手紙の本紙で、その左側の「松陸奥守」以後は、元は本紙を包んでいた包紙です。掛軸に表具した際に本紙と包紙をつなげて表具したため、一枚の紙のようになりました。

内容を意識すると、「お手紙ありがとうございます。昨日、使者が申したように、大坂を拝領したことは天下の覚えであり、私にとっても大変うれしいことです。領地はどれだけでもあったのでしょうか。さぞかしたくさんもらったことでしょうか。あれこれとお会いしたとき話しましょう。追伸、本当にめでたいことで、どのようにしてでもお会いして（お祝い）申し上げます」



松平忠明宛伊達政宗書状

す」となります。松平忠明は大坂夏の陣が終わった1カ月後の元和元年（1615）6月8日に、大坂周辺に10万石の領地を与えられました。親交のあった政宗に早速このことを知らせたところ、政宗はお祝いの返事を書いたのです。

大坂に入った忠明は、戦乱で荒廃した市街地の再生に取り組みました。その功績の一つに道頓堀の完成があります。戦乱で中断していた堀の開削を町人に許可し、完成後に忠明自ら「道頓堀」と命名したとされます。その後、

忠明は大坂復興の功績により大和国郡山藩主を経て播磨国姫路藩主となり18万石を領有し、幕府の重鎮となりました。そして、忠明から数えて9代目の松平忠亮が文政6年（1823）に忍藩主となりました。

今では大阪市有数の繁華街となった道頓堀ですが、その発展に忍藩主松平家の先祖が関わっていたという意外な歴史があったのです。

（郷土博物館 鈴木紀三雄）

こぜに ちゃんが 行く! with フラベス 福祉施設編

むちむちだい さぎょうじよ 夢知無恥第2作業所 (運営:NPO法人サイシップ)

今日は夢知無恥第2作業所に行ってきましたよ。
ここは、平成23年10月にオープンした、就労に向けた知識や能力の向上のための訓練をする施設だよ。利用者は18歳から65歳まで13人。品物の包装や梱包といった軽作業に加え、まきや畑で栽培した作物なども販売しているよ。利用者はお互いに協力しながら作業することで、あいさつや礼儀作法を身に付けたり、コミュニケーション力を高めたりしているんだ。また、みんなでイベントにうどん屋さんを出店することもあるんだって。仲間同士の絆がぐっと深まりそうだね!
懸命に作業に取り組むみんなの顔は、生き生きと輝いていたよ。これからもそれぞれの目標に向かって頑張ってほしいな。

【住所】荒木1970-1 【電話番号】598-8783



このコーナーで紹介する施設を募集していますので、希望される場合は広報広聴課までご連絡ください。

今月の表紙

「ドラゴンクエストが あらわれた！」
6月11日・12日に総勢約1,500人で行った田植えから約1カ月が経過。古代蓮の里東側の田んぼには、大人気ゲームシリーズ『ドラゴンクエスト』のパッケージイラスト、スライムに加えて市の花「古代蓮」が浮かび上がりました。色鮮やかな田んぼアートを、ぜひ古代蓮会館展望室からお楽しみください。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をダイジ版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています